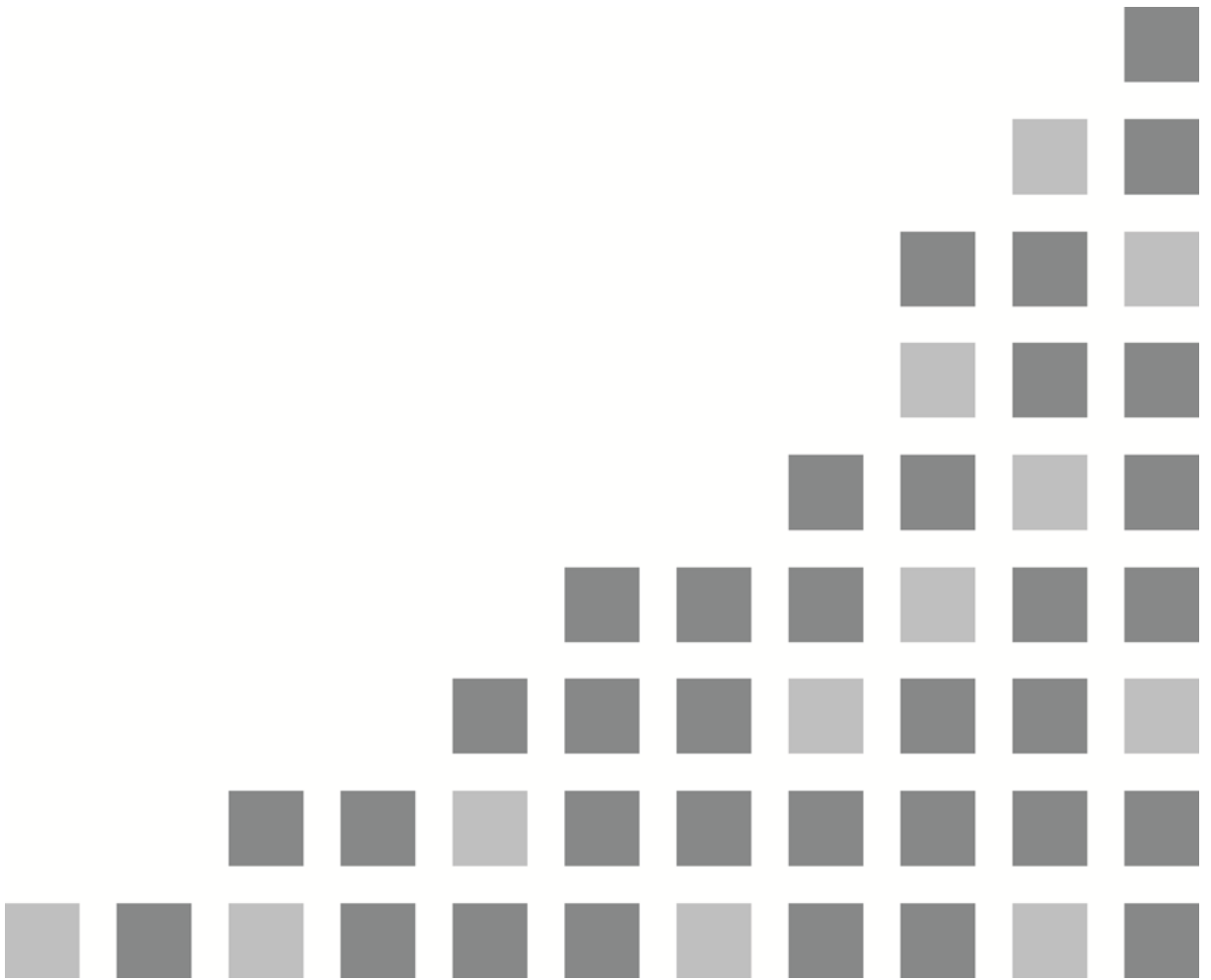


操作説明書

AV-HS410 Plug-in ソフトウェア



目次

<概要>	3
<Plug-in ソフトウェアの入手>	3
<Plug-in ソフトウェアの登録>	4
<Plug-in ソフトウェアの起動方法>	5
<Plug-in ソフトウェアの操作方法>	6
1. CAM_IP.....	6
1.1. 通信方法.....	6
1.2. 動作検証モデル	6
1.3. 機能.....	6
2. CAM_COM.....	9
2.1. 通信方法.....	9
2.2. 動作検証モデル	9
2.3. 機能.....	9
3. P2 Remote	12
3.1. 通信ポート.....	12
3.2. 動作検証モデル	12
3.3. 機能.....	12
4. GVG Protocol.....	13
4.1. 通信ポート.....	13
4.2. 動作検証モデル	13
4.3. 機能.....	13
5. AUXP_IP	15
5.1. 通信ポート.....	15
5.2. 機能.....	15
6. HS410_IF	16
6.1. 通信設定.....	16
6.2. 機能.....	16

略称について

- SD メモリーカードと SDHC メモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。

<概要>

Plug-in ソフトウェアを AV-HS410 に登録、またはインストールすることにより、弊社業務用カメラ(AW シリーズ)のパン・チルト、ズーム、フォーカスの制御などを AV-HS410 から行うことができます。

また、リモートコントロールパネル(Venetex 社製 VS-R45)から AV-HS410 を制御して、クロスポイント切り替えや AUTO トランジションなどを行うことができます。

<Plug-in ソフトウェアの入手>

Plug-in ソフトウェアは、下記のホームページの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

<http://panasonic.biz/sav/>

入手できる Plug-in ソフトウェアは、次の 6 つです。

1. CAM_IP

弊社製品の業務用カメラ(AW シリーズ)をネットワークで接続し、パン・チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を AV-HS410 から行うことができます。

- CAM_IP ソフトウェアは、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。
AV-HS410 のシステムバージョンが V2.00.00 未満の場合は、V2.00.00 以上にバージョンアップしてください。

2. CAM_COM

弊社製品の業務用カメラ(AW シリーズ)をシリアル(RS-422)で接続し、パン・チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を AV-HS410 から行うことができます。

- CAM_COM ソフトウェアのバージョンが V2.01 以上の場合は、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。
AV-HS410 のシステムバージョンが V2.00.00 未満の場合は、V2.00.00 以上にバージョンアップしてください。

3. P2 Remote

弊社製品の P2 機器をシリアル(RS-422)で接続し、記録や再生などの制御を AV-HS410 から行うことができます。

4. GVG Protocol

リモートコントロールパネル(Venetex 社製の VS-R45)、または編集機(通信プロトコル GVG100 に準拠した編集機)をシリアル(RS-422)で接続し、クロスポイント切り替えや AUTO トランジションなどの制御を受けることができます。

通信プロトコルは、GVG100 に準拠しています。

5. AUXP_IP

リモートコントロールパネル(Venetex 社製の VS-R45)をネットワークで接続し、クロスポイント切り替えや AUTO トランジションなどの制御を受けることができます。

- AUXP_IP ソフトウェアのバージョンが V2.00 以上の場合は、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。
AUXP_IP ソフトウェアのバージョンが V2.00 未満の場合は、システムバージョンが V2.00.00 未満の AV-HS410 で動作します。

6. HS410_IF

AV-HS410 を外部機器から制御することができます。AV-HS410 に IP Network 経由で接続された PC から、専用のコマンドインターフェースを用いてバス切替やオートトランジションなどの制御を実行することができます。

<Plug-in ソフトウェアの登録>

登録の準備:

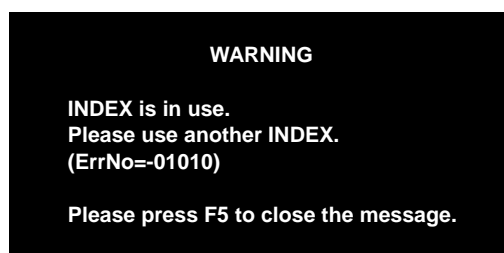
1. 8 MB 以上のメモリーカード 1 枚を用意します。
※ SDXC メモリーカードには対応していません。
2. メモリーカードを AV-HS410 でイニシャライズします。
3. AV-HS410 でイニシャライズしたメモリーカードをパーソナルコンピューターのメモリーカードスロットに挿入します。
4. お望みの Plug-in ソフトウェアの Zip ファイルをダウンロードし、パーソナルコンピューターのハードディスクにコピーします。
5. ダウンロードした Zip ファイルを解凍します。
6. メモリーカードに、「HS410」フォルダーごとコピーします。
フォルダー構成やファイル名は変更しないでください。

登録の手順:

1. Plug-in ソフトウェアをコピーしたメモリーカードを、AV-HS410 のメモリーカードスロットに挿入します。
2. [PLUGIN]ボタンを押します。
現在 AV-HS410 に登録されている Plug-in ソフトウェアが表示されますので、空いているインデックス番号を確認します。
3. [VMEM/SD Card]ボタンを押して点灯させ、SD Card メニューを表示します。
4. [F1]を操作して File1 サブメニューを表示します。
5. [F2]を操作して、Mode 項目で Load を選択して[F2]を押します。
[F2]を押すとファイル選択画面が表示されます。
6. [F1]を操作して、SELECT 項目で読み込むファイルの種類「Plug-in」を選択します。
7. [F3]を操作して先ほど確認をした空いているインデックス番号を選択します。
8. [F4]を操作して Plug-in ソフトウェアを Load (登録)します。

注意:

登録先のインデックス番号にすでに Plug-in ソフトウェアが登録されている場合は、下記のようなワーニングメッセージが出ます。



この場合は、登録の手順 7 からやり直してください。

登録の確認:

6. AV-HS410 の電源を切り、再度電源を入れます。
7. [PLUGIN]ボタンを押して登録した Plug-in ソフトウェアを確認します。

注意:

- 登録した Plug-in ソフトウェアは、削除することができます。
削除の方法は、「取扱説明書 <操作・設定編> 4.5 プラグイン」を参照してください。
- 登録した Plug-in ソフトウェアを AV-HS410 からメモリーカードに保存することはできません。

<Plug-in ソフトウェアの起動方法>

1. [PLUGIN]ボタンを押して、Plug-in メニューを表示します。
2. [F1]を操作して Plug-in ソフトウェアを選択します。
サブメニューには、登録されている Plug-in ソフトウェアのプラグイン名称が表示されます。



3. [F3]を操作して Enable 項目を「On」に設定します。
Enable 項目が「On」に設定されている場合は、選択された Plug-in ソフトウェアがすでに起動しています。
Enable 項目が「Off」に設定されている場合は、「On」に設定して AV-HS410 の電源を切り、再度電源を入れます。
AV-HS410 が起動すると自動的に Plug-in ソフトウェアが起動します。

注意:

- Plug-in ソフトウェアが起動していない場合、Plug-in ソフトウェアのメニュー画面を開いても黒い画面になります。
- AV-HS410 を Service モードで起動している場合も、Plug-in ソフトウェアが起動します。

<Plug-in ソフトウェアの操作方法>

1. CAM_IP

弊社製品の業務用カメラ(AW シリーズ)をネットワークで接続し、パン・チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を AV-HS410 から行うことができます。

- CAM_IP ソフトウェアは、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。
AV-HS410 のシステムバージョンが V2.00.00 未満の場合は、V2.00.00 以上にバージョンアップしてください。

1.1. 通信方法

制御するカメラを LAN ケーブルで AV-HS410 背面の LAN 端子に接続します。

AV-HS410 とカメラを1対1で接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

注意:

AV-HS410 と接続するカメラは、ネットワークの設定を合致させる必要があります。

あらかじめ Network サブメニューで接続するカメラの IP アドレスおよびポート番号を設定しておいてください。

また、公衆回線を利用して AV-HS410 とカメラを接続することはできません。

1.2. 動作検証モデル

- AW-HE50

1.3. 機能

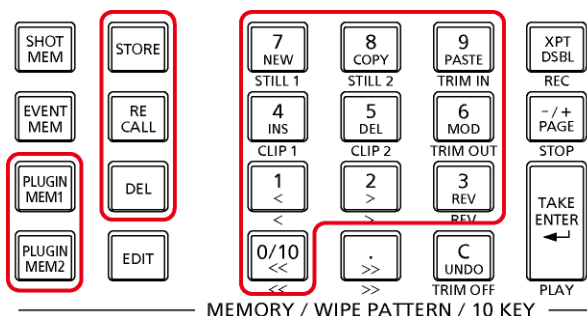
Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu)を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。

MENU : AW-CAM(IP)						
CamCTL1	Cam-Menu		Menu Operation		Power	
	Off	On			Off	On
CamCTL2	Mode	PTSpeed	AF	IRIS		
	PanTilt ▼	Fast ▼	Manual ▼	Manual ▼		
CamCTL3	MEM Preset					
	None ▼					
Network	IP Address	PORT	80			
	192.168.0.10					

サブメニュー	項目/ 操作するロータリーエンコーダー	機能
CamCTL1	Cam-Menu [F2]	カメラのメニューを外部モニターに表示する設定を行います。 On: カメラのメニューを外部モニターに表示します。 Off: カメラのメニューを外部モニターに表示しません。 注意: ここでの設定は、カメラに制御信号を送っているだけで、 実際のカメラのメニューが外部モニターに表示されている 状態を表しているわけではありません。
	MenuOperation [F3]	カメラのメニューでカーソルを移動するときに使用します。 時計方向に回すとカーソルが下に移動し、反時計方向に 回すと上に移動します。 Cam-Menu 項目が On の時に有効です。 注意: AW-HE50 の場合に操作することができます。 AW-HE100 や他のカメラの場合は、操作することができま せん。
	Power [F5]	カメラの電源を制御します。 On: カメラの電源をスタンバイの状態から On の状態にし ます。 Off: カメラの電源を On の状態からスタンバイの状態にし ます。 注意: ここでの設定は、カメラに制御信号を送っているだけで、実 際のカメラの電源状態を表しているわけではありません。
CamCTL2	Mode [F2]	AV-HS410 のポジションナーで行うカメラの制御を選択します。 PanTilt : 左右の操作でパンの制御、上下の操作で チルトの制御を行います。 Zoom/Focus : 左右の操作でレンズのフォーカス制御、上下 の操作でレンズのズーム制御を行います。
	PTSpeed [F3]	カメラのパン・チルト、レンズのフォーカス、レンズのズー ムの速度を指定します。 Fast : 最も速くします。 Middle : 中間の速さにします。 Slow : 最も遅くします。
	AF [F4]	接続しているカメラのフォーカス制御を選択します。 Manual : フォーカスを Manual で制御します。 Auto : フォーカスを Auto で制御します。
	IRIS [F5]	接続しているカメラの IRIS 制御を選択します。 Manual : IRIS を Manual で制御します。 Auto : IRIS を Auto で制御します。

サブメニュー	項目／ 操作するロータリーエンコーダー	機能
CamCTL3	MEM Preset [F2]	カメラのプリセット情報が登録されているメモリーを選択します。 None : 未選択 MEM1 : [PLUGIN MEM1] ボタンに登録されているメモリーを使用します。 MEM2 : [PLUGIN MEM2] ボタンに登録されているメモリーを使用します。
Network	IP Address [F2]	接続するカメラの IP アドレスを入力します。 接続する際には、カメラ側の IP アドレスを確認してから入力してください。
	Port [F4]	接続するカメラのポート番号を入力します。 接続する際には、カメラ側のポート番号を確認してから入力してください。

- CamCTL3 サブメニューの MEM Preset 項目で選択したメモリーのボタンを押して ON(点灯)の状態になると、業務用カメラのプリセット情報を登録、再生、削除することができます。



[STORE] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)にプリセット情報を登録します。 テンキーは、長押ししてください。
[RECALL] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)のプリセット情報を再生します。
[DEL] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)のプリセット情報を削除します。 テンキーは、長押ししてください。

- ・ プリセット情報は、10 件まで登録できます。
- ・ プリセットの登録情報は、カメラ側で保持しています。テンキーの番号がカメラ側でのプリセット番号になります。
- ・ CAM_COM ソフトウェアでも同一のプリセットメモリーを選択することができます。
同一のプリセットメモリーが選択されている場合、後から選択したソフトウェアでプリセットメモリーが機能します。

注意:

AV-HS410 の電源を切ると、PTSpeed、AF、IRIS の設定値がデフォルトに戻ります。
電源を入れた後は、再度設定を行ってください。

2. CAM_COM

弊社製品の業務用カメラ(AW シリーズ)をシリアル(RS-422)で接続し、パン・チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を AV-HS410 から行うことができます。

- CAM_COM ソフトウェアのバージョンが V2.01 以上の場合は、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。
AV-HS410 のシステムバージョンが V2.00.00 未満の場合は、V2.00.00 以上にバージョンアップしてください。

2.1. 通信方法

制御するカメラを RS-422 クロスケーブルで AV-HS410 背面の Com 端子に接続します。
Config メニュー → COM-Port サブメニュー → Mode 項目は、「1」に設定してください。

2.2. 動作検証モデル

- AW-HE50

2.3. 機能

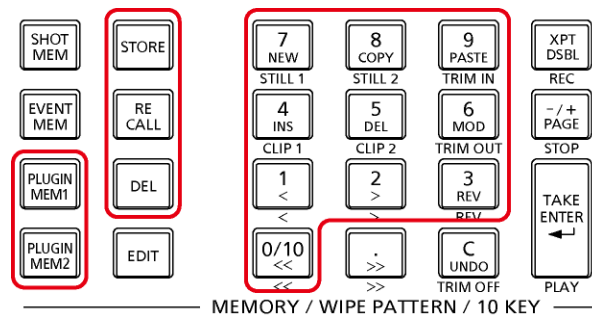
Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu)を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。

MENU : AW-CAM(Serial)						
CamCTL1	Cam-Menu		Menu Operation		Power	
	Off	On			Off	On
CamCTL2	Mode		PTSpeed	AF	IRIS	
	PanTilt ▼		Fast ▼	Manual ▼	Manual ▼	
CamCTL3	MEM Preset					
	None ▼					

サブメニュー	項目/ 操作するロータリーエンコーダー	機能
CamCTL1	Cam-Menu [F2]	カメラのメニューを外部モニターに表示する設定を行います。 On: カメラのメニューを外部モニターに表示します。 Off: カメラのメニューを外部モニターに表示しません。 注意: ここでの設定は、カメラに制御信号を送っているだけで、 実際のカメラのメニューが外部モニターに表示されている 状態を表しているわけではありません。
	MenuOperation [F3]	カメラのメニューでカーソルを移動するときに使用します。 時計方向に回すとカーソルが下に移動し、反時計方向に 回すと上に移動します。 Cam-Menu 項目が On の時に有効です。 注意: AW-HE50 の場合に操作することができます。 AW-HE100 や他のカメラの場合は、操作することができま せん。
	Power [F5]	カメラの電源を制御します。 On: カメラの電源をスタンバイの状態から On の状態にし ます。 Off: カメラの電源を On の状態からスタンバイの状態にし ます。 注意: ここでの設定は、カメラに制御信号を送っているだけで、実 際のカメラの電源状態を表しているわけではありません。
CamCTL2	Mode [F2]	AV-HS410 のポジションナーで行うカメラの制御を選択します。 PanTilt : 左右の操作でパンの制御、上下の操作で チルトの制御を行います。 Zoom/Focus : 左右の操作でレンズのフォーカス制御、上下 の操作でレンズのズーム制御を行います。
	PTSpeed [F3]	カメラのパン・チルト、レンズのフォーカス、レンズのズー ムの速度を指定します。 Fast : 最も速くします。 Middle : 中間の速さにします。 Slow : 最も遅くします。
	AF [F4]	接続しているカメラのフォーカス制御を選択します。 Manual : フォーカスを Manual で制御します。 Auto : フォーカスを Auto で制御します。
	IRIS [F5]	接続しているカメラの IRIS 制御を選択します。 Manual : IRIS を Manual で制御します。 Auto : IRIS を Auto で制御します。

サブメニュー	項目／ 操作するロータリーエンコーダー	機能
CamCTL3	MEM Preset [F2]	カメラのプリセット情報が登録されているメモリーを選択します。 None :未選択 MEM1 :[PLUGIN MEM1] ボタンに登録されているメモリーを使用します。 MEM2 :[PLUGIN MEM2] ボタンに登録されているメモリーを使用します。

- CamCTL3 サブメニューの MEM Preset 項目で選択したメモリーのボタンを押して ON(点灯)の状態になると、業務用カメラのプリセット情報を登録、再生、削除することができます。



[STORE] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)にプリセット情報を登録します。 テンキーは、長押ししてください。
[RECALL] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)のプリセット情報を再生します。
[DEL] ボタンを押してから テンキー(1~10)を押す	該当の番号(テンキー)のプリセット情報を削除します。 テンキーは、長押ししてください。

- ・ プリセット情報は、10 件まで登録できます。
- ・ プリセットの登録情報は、カメラ側で保持しています。テンキーの番号がカメラ側でのプリセット番号になります。
- ・ CAM_IP ソフトウェアでも同一のプリセットメモリーを選択することができます。
同一のプリセットメモリーが選択されている場合、後から選択したソフトウェアでプリセットメモリーが機能します。

注意:

AV-HS410 の電源を切ると、PTSpeed、AF、IRIS の設定値がデフォルトに戻ります。
電源を入れた後は、再度設定を行ってください。

3. P2 Remote

弊社製品の P2 機器をシリアル (RS-422) で接続し、記録や再生などの制御を AV-HS410 から行うことができます。

3.1. 通信ポート

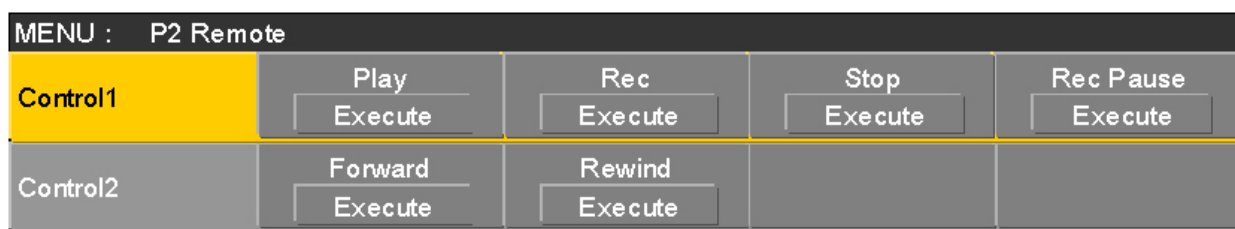
P2 機器を RS-422 ストレートケーブルで AV-HS410 背面の Com 端子に接続します。
Config メニュー → COM-Port サブメニュー → Mode 項目は、「2」に設定してください。

3.2. 動作検証モデル

- AJ-HPM200
- AG-HPD24

3.3. 機能

Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu) を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。



サブメニュー	項目/ 操作するロータリーエンコーダー	P2 機器の制御
Control1	Play [F2]	再生開始
	Rec [F3]	録画開始
	Stop [F4]	録画の停止、再生の停止
	Rec Pause [F5]	録画中の一時停止
Control2	Forward [F2]	早送り
	Rewind [F3]	巻き戻し

4. GVG Protocol

リモートコントロールパネル(Venetex 社製の VS-R45)、または編集機(通信プロトコル GVG100 に準拠した編集機)をシリアル(RS-422)で接続し、クロスポイント切り替えや AUTO トランジションなどの制御を受けることができます。

通信プロトコルは、GVG100 に準拠しています。

※ サブメニュー内のパラメータは、ありません。

4.1. 通信ポート

リモートコントロールパネル、または編集機を RS-422 ストレートケーブルで AV-HS410 背面の Editor 端子に接続します。

4.2. 動作検証モデル

- AG-A850
- VS-R45(シリアル)

4.3. 機能

Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu) を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。

MENU : GVG Protocol

リモートコントロールパネル、または編集機から下記の制御を受け付けます。

<制御内容>

バスの切替	下記のバス素材を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・A/B ・Key フィル/Key ソース ・DSK フィル/DSK ソース ・PinP1、PinP2 ・AUX1～AUX4
ボタントリガー (プッシュボタンコントロール)	AV-HS410 の制御パネルで下記のボタンを押したときと同じ動作をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・Auto ボタン ・DSK ボタン ・WIPE ボタン ・MIX ボタン ・PinP1 ボタン ・PinP2 ボタン ・Key ボタン
ボタン強制 ON (プッシュボタンランプ On コントロール)	下記の機能を強制的に On の状態にします。 <ul style="list-style-type: none"> ・DSK ・FTB ・Key ・PinP1 ・PinP2

ボタン強制 OFF	下記の機能を強制的に Off の状態にします。 <ul style="list-style-type: none">・DSK・FTB・Key・PinP1・PinP2
パターン切替	BKGD と KEY のトランジションパターンを変更します。
トランジション時間変更	下記のトランジション時間を変更します。 <ul style="list-style-type: none">・BKGD・Key・DSK・PinP1・PinP2

5. AUXP_IP

リモートコントロールパネル(Venetex 社製の VS-R45)をネットワークで接続し、クロスポイント切り替えや AUTO トランジションなどの制御を受けることができます。

※ サブメニュー内のパラメータは、ありません。

● AUXP_IP ソフトウェアのバージョンが V2.00 以上の場合は、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。

AUXP_IP ソフトウェアのバージョンが V2.00 未満の場合は、システムバージョンが V2.00.00 未満の AV-HS410 で動作します。

5.1. 通信ポート

VS-R45 を LAN ケーブルで AV-HS410 背面の LAN 端子に接続します。

(VS-R45 は、最大4台まで接続することができます。)

AV-HS410 と VS-R45 を1対1で接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。

5.2. 機能

Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu) を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。



MENU : VS-R45(IP)

VS-R45(IP)からの制御を受け付けます。

詳細は、VS-R45 の取扱説明書を参照してください。

注意:

AV-HS410 と VS-R45 は、ネットワークの設定を合致させる必要があります。

また、公衆回線を利用して AV-HS410 と VS-R45 を接続することはできません。

6. HS410_IF

AV-HS410 を外部機器から制御することができます。AV-HS410 に IP Network 経由で接続された PC から、専用のコマンドインターフェースを用いてバス切替やオートランジションなどの制御を実行することができます。

※ サブメニュー内のパラメータは、ありません。

- HS410_IF ソフトウェアのバージョンが V2.00 以上の場合は、システムバージョンが V2.00.00 以上の AV-HS410 で動作します。

6.1. 通信設定

AV-HS410 との通信環境設定は下記の通りです。

- 10Base-T/100Base-T
- IPv4
- TCP/IP
- IP Address :メニューにて変更可能(工場出荷設定:192.168.0.8)
- Subnet Mask :メニューにて変更可能(工場出荷設定:255.255.255.0)
- Port 番号 :60040(固定:外部制御用で同時接続 4 台まで可能)
- 最低コマンド間隔 :1 フレーム以上

6.2. 機能

Plug-in メニューから該当のサブメニューを選択し、[F2] (Open Menu) を押すと本 Plug-in のメニューが表示されます。



MENU : HS410_IF

注意:

AV-HS410 と外部機器(PC)は、ネットワークの設定を合致させる必要があります。

また、公衆回線を利用して AV-HS410 と External Devices(PC)を接続することはできません。